令和 4年度

事務事業評価表 (令和 3年度 の実績評価)

令和	4	年	4	月	8	Е
記入年	月日					

					3 333 3 7 1 1 1 2 7 7 1 1 1 1 2		T-	和 4 年	4 月 8 日	
	事務事業名	桜川市表	-			事業区分		担当		
	尹仂尹未位	ないいなり	彩 尹未			新規/継続	継続 事務事業		060102000884	
		政	策体系上の	位置位	けけ	単独/補助	単独	所属課	010101	
I	致 総合計画の施策名				のまちづくり			が高味	秘書広報課	
2	策 政策名	06	みんなでき	い かんり	治のまちづくり			課長名		
1	施策名 O1 市民協働のまちづくり						グループ	秘書広報G		
3	系 手段名	02	②協働の	まちづ	くりの推進			担当者名		
		財	務会計上の	位置位	すけ	事業期間				
	予算科目 会計 款	項 目 事業 細 一般会計				単年度繰返し (平成17年度~)				
	01 02		02	00	秘書関係事業	期間限定の場合、総投入量		投入量を(3))投入量の右側に記入	
	法令根拠 桜川市表彰	€例								

(Do) 1. 事務事業の現状把握(その1)

(1)事務事業の概要

①事務事業の概要(事務事業の全体像)

(1事務事業の概要(事務事業の全体像) 桜川市の政治、文化、社会、経済その他の地方自治の各般にわたってその発展に寄与し、衆人の模範と認められる方、公益事業に関して著しい功績のあった方を表彰し、その功績をたたえます。 表彰の種類は、功労者表彰(自治功労者・特別功労者)・一般表彰・寄附者表彰とし、自治功労者には自治功労章を、特別功労者には特別功労章を授与し、かつ、表彰状および記念品を贈呈。一般表彰者には、その事由に応じて表彰状、感謝状、褒状などを贈呈し、かつ、記念品を贈呈。また、寄附表彰者には、功績章を授与し、かつ、感謝状および記念品を贈呈します。

②担当者が行う業務の内容・やり方・手順

- ■被表彰者の内申依頼を市役所全課に依頼
- 及録ものの中心保全市区内主体に依め 各課から内申された被表彰者の方々の調査を行い、市長に内申 庁議において調査審議の上、市長が決定
- ■被表彰者の方々への通知発送
- ■被表彰者の出席の把握 ■会場準備・式典開催・会場片付け
- ■会食会開催

※新型コロナウイルス感染症により、R2年度から会食は中止。

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標(1)手段 (担当者の活動内容)									02年度	03年度	04年度	05年度	06年度
U) 丁 ‡	· 文 ()	担当者の活動内容)		④活動指標	(活動重を表9指	ョ1宗ノ	単位	(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
■被表彰者の内申を依頼 ■庁議において調査審議の上、市長が決定 ■被表彰者の方々への通知発送 ■被表彰者の出席の把握 ■記念品の準備					実施回数	実施回数			1.0	0 1.00	1.00	1.00	1.00
					=				0,0	0.00	0.00	0.00	0.00
									0.0	0.00	0.00	0.00	0.00
■会場準備・式典開催・会場片付け 				片付け					0.0	0.00	0.00	0.00	0.00
2	対	桑 (1	誰、何を対象にして	(いるのか)	⑤対象指標	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)			02年度 (実績)	(実績)	O4年度 (計画)	05年度	06年度
									15 41517	(2.4.7.7)	13.7 — 7	(目標)	(目標)
					市民数	市民数			39,122.0	0 38,422.00	37,852.00	37,282.00	36,712.00
市	民									0.00	0.00	0.00	0.00
									0.0	-	·	0.00	0.00
3]意[この事業によって対 るのか)	対象をどう変え	⑥成果指標	⑥成果指標 (対象における意図の達成度 を表す指標)			O2年度 (実績)	03年度 (実績)	O4年度 (計画)	O5年度 (目標)	06年度 (目標)
市政発展に貢献し、衆人の模範と認められ					被表彰者数	被表彰者数			25.0	0 20.00	40.00	40.00	0.00
る方を顕彰し讃えるとともに感謝の意を伝達し、広報紙などで市民の皆様に周知する									0,0	0.00	0.00	0.00	0.00
ことで協働社会の参画意識を高める。								0.00	0.00	0.00	0.00		
			02年度					05年度	06年度		明間限定		
	г т		国庫支出金	千円	(実績)	(実績	0	(計画	0	(目標)	(目標)) fr	総投入量
		財	県支出金	千円)	0		0				
+ 元	事	源	地方債	千円		5	0		0				
汉	業	内	使用料・手数料			0	0		0				
	費	訳	その他	千円		2	0		0				
λ		U/ C	一般財源	千円	439	-	643		643				
`		=	事業費計(A)	千円	439		643		643				
量			規職員従事人数	λ	2.00人	2.00人		2.00					
_													
					実績(千円)	績(千円)			O4年度事業費)	
		報償		478									
事	10	10 需用費 165											
業													
費	_												
の	_												
内													
訳													
						A =1						=1	0.15
					合 計		643				合	計	643

					(桜川市行政評価システム)
		市表彰事業	事務事業No.	60102000884	所属課 秘書広報課
(きっかけは、いつ頃どんな経緯で開始			受わったのか?
		実施。合併後も、引き続き桜川市表章 原者(住民、議会、事業対象者、利害			
	特にありません				
\exists	See】 2. 評価の部 :	*原則は事前評価。	評価項目		
	①政策体系との整合性 (こ	の事務事業の目的は市の政策体系に結び	<u> </u>	びついているか?)	
現状#		ි			ることから政策体系に結びついてい
維持	② 公共関与の妥当性 (なt	<u>ぜこの事業を市が行わなければならないの</u> 	Jが?祝金を投入して、達成するE	1的か?)(法定受託事業は1	との名称)
	妥当である ③ 成果の向上余地 (成果を	市政の各分野で功労・功績のあった 西内とさせる余地はあるか?成果の現状水			
	向上余地がない	桜川市表彰条例で表彰基準を設けて			
	④廃止・休止の成果への影響	 譻 (事務事業を廃止・休止した場合の影	影響の有無とその内容は?)		
有効性	影響有	市政の各分野で功労のあった方を表	彰できなくなると、市政に対	する市民意識の低下を招	
	⑤類似事業との統廃合・連携		性がありますか?(市以外の取り)	組みも含む))	
	(他に手段がある場合) 余地がない	具体的な手段、事務事業名 市政の各分野で功労・功績のあった		連携はできない。	
	○事業費・人供費の削除全性	 也(成果を下げずに事業費を削除でき	をたいかりめり方を工事して延	バ業務事業を削減できた !	ハかつ)
効率性	火ルポカルカッ	表彰状の作成費用および記念品など			(113.17)
公	⑦ 受益機会・費用負担の適		5に偏っていて不公平ではないか?	受益者負担が公平・公正にな	ふっているか?)
4平性	公正・公平である	市民の方を対象に、市政の各分野で	で功労・功績のあった方を表彰	するため公正・公平である	ప .
	Plan 3. 評価結果の総括 1) 1次評価者としての評	らと今後の方向性(次年度計画と予算 (歴史)	「への反映) (2) 全体総括(振り返り	后 少 占)	
	①目的妥当性 ■ 適切 ②有効性 ■ 適切 ③効率性 ■ 適切 ④公平性 ■ 適切	□ 見直し余地あり □ 見直し余地あり □ 見直し余地あり □ 見直し余地あり □ 見直し余地あり	令和3年度は、市の表彰条例	こ基づき、20名の表彰を らし、表彰式終了後の受	行った。表彰式については、前年 章者との会食も取りやめるなど新型 催した。
(3	3) 今後の事業の方向性				(4)改革・改善による期待成果
	□ 終了 ■ 継続	□ 改革改善を行う □] 有効性の改善 🗆	公平性の改善	(終了・廃止・休止の場合は記入不要)
	□ 廃止 □ 休止	■ 現状維持] 統廃合ができる □	連携ができる	削減 維持 増加
(5) 改革,改善を実現する	上で解決すべき課題(壁)とその解	決策		成 維 持
					成果優先度評価結果
		で改善に向けての指摘事項			
	1) 課長評価		(2) 部長確認及び評価	西 (課長評価により、C	(、D判定及び確認が必要な場合)
	課長確認後の評価 A:継続(現状維 B:継続(改革改		在意思模		